

JForest

森林組合だより

平成27年1月1日

発行

第102号

新春のお慶びを
申し上げます

本荘由利森林組合
由利本荘市水林381

TEL 0184-24-4141(代) FAX 0184-24-4143

HP <http://www.honmori.com/> メール honmori@trad.ocn.ne.jp



新年のごあいさつ

代表理事組合長

小松佳和

明けましておめでとうございませす。

組合員の皆様には、お健やかに清々しい新年をお迎えの事と心よりお慶び申し上げます。また、平素は組合の業務運営全般にわたり組合員の皆様はじめ、各関係機関から格別のご厚情を賜り厚くお礼申し上げます。

順調に回復していたかに見えていた経済成長も実態との乖離が表面化し、年も押し迫った十二月、アベノミクスの成果等を推し量る衆議院選挙が実施され、与党圧勝のもと安倍政権の続投が決定されました。

現政策が継続して執行されることとなりますが、第三の矢の成果がいち早く上がることを願っております。

求人倍率が上がり、企業活動の活発さが伺われるところですが、賃金の上昇を超える物価等の高騰により、市民の幸福感はいまだ実感しない状況であります。

消費増税の反動による景気低迷は、当初の予想ほどでは無かったにしろ地方経済の回復は進まず予断を許さない状況であります。

一方、森林・林業については、日本創生委員会による「日本経済再生に資する林業復活」についての提言があり、長年に亘り森林を環境問題としてのみ注視し、経済としての視点で捉えてこなかったことを指摘したうえで、成長戦略上「日本経済再生」と「林業復活」を結び付けることが重要であると、経済界からも強い後押しがありました。

今こそ、「ヒト（人材）」「モノ（技術）」「カネ（投資）」により、林業を復活させ、確たる産業として日本経済発展の一助とすべき、というものです。

そのためには、C.I.T（直交集成材）や木質バイオマスなど、新たな技術革新と人材育成を図り、地方法活性化に邁進することを期待します。

さて、地域産材の高度利用と里山に住む森林所有者の経済的活性化を図るため、組合員の皆様のご理解と関係機関のご支援をいただいて昨年更新した製材機械等は、本年に入りようやく本格稼働となり、今までの二倍強の製品生産量を目指します。

また、林産販売部門で整備しました高性能林業機械の活用と併せ、由利地域の森林を将来に亘る持続的な美林として育て利活用するため、事業体の皆様と共に協力して、各種事業を今まで以上に進めてまいります。

昨年は、組合合併二十周年記念式典を挙行しましたが、これを契機に一層の飛躍ができますよう役員一同懸命に努力をしてまいりますので、組合員の皆様はじめ関係各位には一層のご指導、ご鞭撻賜りますようお願い申し上げます。新年のごあいさつといたします。

謹賀新年

代表理事組合長 小松佳和
副組合長理事 鈴木充
副組合長理事 小松佳和

理事 佐藤勝栄

理事 佐藤喜久一郎

理事 小松幸夫

理事 佐藤健一

理事 伊藤修二

理事 鈴木敏規

理事 工藤喜作

理事 佐々木法夫

理事 初瀬東一

理事 藤原正一

理事 猪股長一

理事 畑山作喜

理事 齋藤惣一郎

理事 岡見晃一

理事 熊谷典夫

理事 三浦功

代表 村上佐左衛門

監事 加藤貞藏

監事 加藤進

外 職員一同

第58回 秋田県森林組合大会

十二月二十一日、「秋田テルサ」で全県の組合関係者が出席して、盛大に開催されました。佐藤県森連会長の挨拶に続き、多数のご来賓からご祝辞が述べられました。表彰では、森林組合経営功労者、優良森林組合等の表彰が行われました。



当組合も役員等十一名が表彰され、部門別系統優秀組合として森林造成事業が連合会長賞を受賞しました。

大会議題では鈴木副組合長が「若い林業技術者の育成」について提案しました。採決はすべて原案通り万雷の拍手で可決されました。

◆ 林業功労者

堀川 悌二 (大内)

◆ 役員永年功労者 (30年)

小松 佳和 (東由利)

工藤 喜作 (岩城)

◆ 役員永年功労者 (25年)

小番 勲 (矢島)

◆ 役員永年功労者 (15年)

畑山 作喜 (東由利)

齋藤 惣一郎 (にかほ)

◆ 職員永年功労者 (20年)

佐藤 智信 (林産販売課)

菊地 輝和 (仁賀保支所)

原田 泰彦 (西目センター)

◆ 優良作業班員

阿部 清 (林産販売課)

佐々木 堅一 (林産販売課)

◆ 部門別優秀表彰

森林造成事業 (本荘由利森林組合)



決 議



森林は、県土の保全、水資源の涵養、木材の供給などを通じ安全、安心な県民生活に大きく貢献してきた。しかしながら森林を支える林業、木材産業は、国産材の需要価格とも回復の兆しが見られるものの、依然として厳しい状況にある。

このままでは、森林所有者の森林離れとともに森林が荒廃し、ひいては山林の崩壊にもつながりかねない危険がある。私たち森林組合は、山村地域に根差した協同組合として、組合運動の原点である相互扶助のもとで、「国産材の利用拡大と森林、林業再生運動」に一致団結して取り組み、先人が創り上げた豊かな森林を次世代に継承しながら、元気な山村社会を創造していく覚悟である。

このため本日ここに、秋田県、東北森林管理局、秋田県市長会、秋田県町村会、農林中央金庫秋田支店の後援のもと第五十八回秋田県森林組合大会を開催し、次の事項の実現に森林組合系統の総力を挙げてまい進するものである。

- 一、再造林と一体となった皆伐施業の推進
- 二、若い林業技術者の育成
- 三、森林吸収源対策を着実に進めるための安定的な財源の確保

平成二十六年十二月二十一日
第五十八回秋田県森林組合大会

組合員技術講習会

11月11日(火)、組合員85名が参加し、林業研究研修センター(秋田市河辺)を会場に組合員技術講習会を開催しました。



奥山収三氏

午前は、樹木医の奥山収三氏から「木の害虫対策」をテーマに薬剤散布の基本、予防散布、害虫発生時の駆除散布について講義をいただきました。

午後は、資源利用部菅原冬樹 上席研究員から「きのこ栽培技術の現状」をテーマに、食べられるキノコや食べられないキノコ、地域の活性化として原木まいたけ栽培をしている事例等講義をいただきました。



菅原冬樹氏

質疑応答



Q、サルスベリがスス病にかかっているが、対策について教えて欲しい
A、冬に石灰硫黄合剤を2〜3回与えると効果がある。

Q、アカシアが何度切っても生きてきて困っている。
A、伐採後に除草剤の原液を切り口に塗ると良い。また真夏の気温の高い時に切るのが好ましい。

Q、クロマツがスス病のようなので、冬に防除したい。石灰硫黄合剤はどこで買えるのか。
A、農協で一斗缶で売っている。薬剤を保管の際には、鍵をかけて保管をする。使用期限の切れた薬剤は廃棄処分する。希釈した薬剤は使い切る。誤飲のない

理事会報告

第一回理事会

開催日 五月十五日(木)

議案第一号

理事と組合との契約に関する専決処分の報告及び承認について

議案第二号

固定資産取得に関する専決処分の報告及び承認について

議案第三号

固定資産取得について

議案第四号

第二十回本組合通常総代会提出議案九件について

協議事項

合併二十周年記念事業について

第二回理事会

開催日 六月十七日(火)

議案第一号

定期監査報告に対する回答(案)について

議案第二号

役員報酬の配分及び支払期日について

議案第三号

役員賠償責任保険加入について

議案第四号

役員退任慰労金の支払期日について

議案第五号

職員夏期賞与支給について

議案第六号・七号・八号

理事と組合との契約に関する専決処分の報告及び承認について

議案第九号

理事と組合との契約の承認について

よう飲み物等のペットボトルに小分けしない。

Q、フジのコブ病の処置と予防を教えてください。

A、コブ病は一度でもかかればやっかいで、コブ部分を切除しなければ周囲に広がってしまう。予防は冬に石灰硫黄合剤を与えるのが好ましい。

Q、キンモクセイを植えているが、木の半分が樹形が弱く花も咲かない状態になっている。どうすればいいか。

A、キンモクセイは樹形が自然のままでは整わない。人の手を入れる必要がある。半分がおかしい理由は実際に見ないと断定はできないが、虫が入っている可能性が高い。一度幹を十分見て穿孔した穴がないか確認してみたい。



Q、リンゴがコブ病のようだがどうすればいいか。

A、基本的にはコブ部分を削り取るべきだが、果樹は幹に対して2/3以上に大きくなった場合は、伐採したほうが良い。



Q、庭の樹木には肥料を与えていないが、与えたほうが良いのか。

A、花が咲くものには肥料を与えたほうが良い。アブラカスが効果的である。また庭木の場合、深植えをする場合が多々ある。根は酸素を必要とするため、深植えは枝枯れの原因となる。自宅の木も深植えになっていないか見て欲しい。

Q、ナメコを原木栽培しているが、同じ場所で栽培するとナメコが出なくなるのは何故か。

A、同じ場所で栽培すると連作障害の一種が起こる。トリコデルマというキノコの天敵のカビが発生するため。同じ個所で栽培する場合は、原木を置く一か月



前に消石灰を撒いて土壌をアルカリに変えてやると良い。ただ可能なら、毎年原木を置く場所を変えるのが好ましい。

Q、ヒラタケを栽培しているが、ヒタにコブができるのは何故か。

A、コブはキノコバエが産卵し、センチュウが入ってできる。防ぐには細かいネットで覆えば良い。

Q、ブナハリタケの成長が収穫期直前で止まったのだが何故か。

A、直接見ないと断定できないが、気温や環境によって起きることがある。今度現場を見せて欲しい。



■協議事項
合併二十周年記念事業について

■第三回理事会

開催日 八月二十五日(月)

■議案第一号

育児・介護休業等に関する規則の一部改正について

■議案第二号

就業規則の一部改正について

■議案第三号

林業技能者就業規則の一部改正について

■議案第四号

理事と組合との契約に関する専決処分の報告及び承認について

■第四回理事会

開催日 十一月十日(月)

■議案第一号

出資口数の減少について

■議案第二号

理事と組合との契約に関する専決処分の報告及び承認について

■議案第三号

長期資金借入れについて

■協議事項

由利本荘市及びにかほ市に対する要望書について

■第五回理事会

開催日 十二月八日(月)

■議案第一号

理事と組合との契約に関する専決処分の報告及び承認について

■議案第二号

出資口数の減少について

■議案第三号

職員年末賞与支給について

■議案第四号

固定資産の取得について

木材市況情報 (平成26年)

単位：円、上段（石当り価格）
下段：㎡当り価格

樹種	材長 m	径級 cm	11月7日			12月2日		
			本荘由利木材流通センター			本荘由利木材流通センター		
			高値	安値	平均価格	高値	安値	平均価格
スギ	3.65	14			(2,397) 8,631			
		16~22	(3,669) 13,210	(3,005) 10,820	(3,467) 12,484	(2,690) 12,598	(2,507) 10,260	(2,627) 11,397
		24~34	(3,721) 13,396	(3,194) 11,500	(3,600) 12,961	(3,627) 13,618	(2,966) 11,881	(3,324) 12,893
出材量・販売量・販売率			644m ³ (2,318石)・635m ³ (2,286石)・98%			557m ³ (2,819石)・532m ³ (2,480石)・95%		

11月：量産工場の参加で16~22cmが13,200円を越し、強含み。中目材よりも高値となった。36cm上を除き完売。もうしばらくこの傾向は続きそう。
12月：新潟、山形県勢の参加が多く、ほとんどが県外勢による購入となった。秋田県勢は製品市況の低迷からやや値を下げての応札となり、今後原木価格はやや弱含みになりそう。



森林組合たより 平成二十七年一月二日発行 印刷・発由利印刷

年末年始休業のおしらせ

12月30日(火)~1月5日(月)

尚、1月6日(火)から通常業務です。



● 各地区座談会
2月上旬

● 造林コンクール表彰式
及び林業講演会
2月

今後の行事予定

職員研修



岩沼屋前にて集合写真

11月28日(金)~29日(土)に職員研修を行いました。宮城県で秋保工芸の里や麒麟の仙台工場を視察し、宿泊先の岩沼屋では研修会を行いました。